

平成 28 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 29 年 7 月

倉吉家畜保健衛生所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6頁
11	不納欠損額調べ	6頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9頁
14	財産に関する調べ	10頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13頁
20	備品の処分状況調べ	14頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	15頁
	(1) 旅行等の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
23	事業別予算執行状況	16頁
24	家畜保健衛生事業	16頁
25	家畜病性鑑定事業	19頁
26	意見、要望等	20頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
/	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成29年4月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	28.4.1 現 在							
定 員	0	0	15	15	0	0	15	15	
現 員	(0) 0	(0) 0	(0) 14	(0) 14	(0) 0	(0) 0	(0) 14	(1) 14	
過不足(△)	0	0	△1	△1	0	0	△1	△1	欠員：1名
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	3	3	3	3	7	7	事 務：1名 現業技術員：1名 獣 医 師：1名 ----- (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師：2名 畜産技術員：2名

5 役付職員の調べ

（平成29年7月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里 比呂志	6年 3月	継続勤務期間 7年3月
病性鑑定室長	井上 禎文	年 3月	
次長兼課長補佐	下岸 照和	年 3月	出納員 継続勤務年数5年3月
課 長 補 佐	森 利之	3年 3月	
課 長 補 佐	小谷 道子	年 3月	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳																																																		
		国庫支出金	その他	一般財源																																																
家畜伝染病対策事業	8,719	5,066	3,146	507																																																
将来ビジョン	I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業																																																			
政策項目																																																				
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 ・牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における48カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○家畜伝染病の摘発 家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条)：1件 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条、同施行規則第2条)：22件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <table border="0"> <tr> <td>〈牛〉</td> <td>・ブルセラ病</td> <td>：</td> <td>1,</td> <td>625</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・結核病</td> <td>：</td> <td></td> <td>809</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ヨネ病</td> <td>：</td> <td>2,</td> <td>997</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>〈鶏〉</td> <td>・ニューカッスル病</td> <td>：</td> <td>4,</td> <td>110</td> <td>羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひな白痢</td> <td>：</td> <td>4,</td> <td>890</td> <td>羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マイコプラズマ病</td> <td>：</td> <td>4,</td> <td>890</td> <td>羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高病原性鳥インフルエンザ</td> <td>：</td> <td></td> <td>450</td> <td>羽</td> </tr> <tr> <td>〈蜜蜂〉</td> <td>・ふそ病</td> <td>：</td> <td></td> <td>61</td> <td>群</td> </tr> </table> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数：243頭</p> <p>○特定家畜伝染病の侵入防止対策 ・高病原性鳥インフルエンザ：関係者・生産者を対象とした研修会の開催 1回</p> <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高病原性鳥インフルエンザ発生時、関連周辺防疫作業(消毒ポイント設営運営等)が重要。 ・地域防疫対策マニュアルに基づき、関連防疫作業(集合施設、現地防疫基地、埋却溝、消毒ポイント)の設営・運営・連携に主眼を置いた防疫演習を中部総合事務所と合同で実施。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を実施し、届出伝染病22件(牛白血病16件、牛ウイルス性下痢粘膜病2件、豚丹毒3件、ロイコチトゾーン病1件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することでまん延を防止した。 ・死亡牛のBSE検査を実施し全ての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出伝染病の発生が22件(特に牛白血病が顕著)あり、各種検査による伝染病の早期摘発まん延防止の徹底を継続して行う必要がある。 ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に関係各所が防疫マニュアルに基づく的確な対応ができるよう防疫演習等による十分な準備が必要である。 ・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携してこれらの飼養にかかる情報収集に努め、飼育者に対する指導を継続して対応する必要がある。 					〈牛〉	・ブルセラ病	：	1,	625	頭		・結核病	：		809	頭		・ヨネ病	：	2,	997	頭	〈鶏〉	・ニューカッスル病	：	4,	110	羽		・ひな白痢	：	4,	890	羽		・マイコプラズマ病	：	4,	890	羽		・高病原性鳥インフルエンザ	：		450	羽	〈蜜蜂〉	・ふそ病	：		61	群
〈牛〉	・ブルセラ病	：	1,	625	頭																																															
	・結核病	：		809	頭																																															
	・ヨネ病	：	2,	997	頭																																															
〈鶏〉	・ニューカッスル病	：	4,	110	羽																																															
	・ひな白痢	：	4,	890	羽																																															
	・マイコプラズマ病	：	4,	890	羽																																															
	・高病原性鳥インフルエンザ	：		450	羽																																															
〈蜜蜂〉	・ふそ病	：		61	群																																															

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜衛生対策事業	15,057	6,233	495	8,329
将来ビジョン	I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業			
政策項目				
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持・充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○畜産物の安全確保対策 飼料安全法に基づき、飼料中にカビ毒が含まれないことの確認検査を実施した。</p> <p>1) 牛飼養農家巡回指導 管内牛飼養農家10戸を対象に巡回指導</p> <p>2) カビ毒検査 地域流通飼料製造業1業社1品目を対象に収去検査を実施</p> <p>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施 牛1戸39頭(牛ヨーネ病)</p> <p>○動物用医薬品危機管理 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。</p> <p>1) 動物用医薬品使用実態調査・指導・管内酪農農家70戸(全戸)対象に調査指導実施</p> <p>2) 生産農家での薬剤耐性菌検査 サルモネラ菌・牛4戸・豚2戸(9検体)、黄色ブドウ球菌・牛2戸・豚2戸(4検体)</p> <p>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査・17店舗(管内全店舗)への立入検査を実施</p> <p>○地域衛生管理対策 地域内の慢性疾病等の検査・指導を行うとともに、飼養管理状況の確認を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。</p> <p>1) 牛ウイルス性下痢症対策・県外からの侵入まん延防止対策 牛33戸289頭を対象に検査を行い、2頭の持続感染牛を摘発</p> <p>2) 乳房炎・幼畜疾病対策・畜産経営に影響の大きい乳房炎、下痢症及び肺炎の監視検査。 乳牛130検体、牛1戸、豚1戸 検討会 各1回開催</p> <p>3) 牛白血病清浄化対策 モデル農場調査分析・指導 和牛繁殖一貫経営農場1戸 検討会1回開催</p> <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・牛白血病に罹患しにくい遺伝子を指標とした牛白血病制圧戦略を試行中。このため農場への指導と並行し、国立研究開発法人理化学研究所と協同で国内でも先進的な研究を実施中。</p> <p>ウ 成果 ・病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組むことにより、農場でのまん延を防止し、経済効果が得られたものとする。とりわけ牛ウイルス性下痢粘膜炎では2頭の持続感染牛を早期に摘発し、管内の清浄化へ寄与した。</p> <p>エ 課題 ・牛白血病対策では引き続き農家への指導と並行し、現在取組中の制圧戦略の研究を進め、その成果を現場にフィードバックさせることが必要である。</p>				

7 収入証紙取扱額調べ

(平成29年5月31日現在)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
農林水産業	畜産業手数料	動物用医薬品販売 業許可等手数料	1	2,000	2,000	動物用医薬品特例店舗販売業許可証書換交付 手数料 鳥取県手数料徴収条例第2条1(65)
			1	11,000	11,000	動物用医薬品特例店舗販売業許可更新手数料 鳥取県手数料徴収条例第2条1(53)
	計(節)		2		13,000	
目計			2		13,000	
合計			2		13,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成29年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		25	124,980	124,980	0	0		
		計(節)		25	124,980	124,980	0	0	
目計			25	124,980	124,980	0	0		
合計			25	124,980	124,980	0	0		

(3) 手数料

(平成29年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
目	節	細節								
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料	83件	3,145,650	3,145,650	0	0	鳥取県手数料 徴収条例		
		〈内訳〉								
		ヨーネ病(ELISA)	(2,802頭)	1,905,360					@680	
		ヨーネ病(リアルタイムPCR)	(3頭)	7,170					@2390	
		結核病	(751頭)	180,240					@240	
		ブルセラ病	(1,625頭)	390,000					@240	
		牛ウイルス性下痢症	(351頭)	238,680					@680	
		家禽サルモネラ感染症	(4,890羽)	210,270					@43	
		マイコプラズマ病	(4,890羽)	210,270					@43	
		ふそ病	(61群)	3,660					@60	
		家畜保健衛生所手数料	17件	494,880	494,880	0	0	鳥取県家畜保 健衛生所の名 称、位置及び 定める条例		
		〈内訳〉								
		ヨーネ病(リアルタイムPCR)	(22頭)	53,240			@2,420			
		結核病	(39頭)	24,960			@640			
		ブルセラ病	(8頭)	7,600			@950			
		牛ウイルス性下痢症	(168頭)	406,560			@2,420			
		検査証明書	(6件)	2,520			@420			
		計(節)	100件	3,640,530	3,640,530	0	0			
		目計	100件	3,640,530	3,640,530	0	0			
		合計	100件	3,640,530	3,640,530	0	0			

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入 該当なし

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成29年5月31日現在)
(単位：円)

収入科目(節)	収入済額	備 考
畜産業手数料	3,016,120	家畜防疫手数料 (67件)
	353,320	家畜保健衛生所手数料 (7件)
合 計	3,369,440 (74件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負担金

(平成29年5月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
家畜保健衛生費								
新規以外のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者 協議会会費 文書ID 16-00066335
目 計						10,000		
合 計						10,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)								
家畜保健衛生費	国補	牛白血病の抗病 性遺伝子の特定 受託試験	国立研究開 発法人理化 学研究所		(28.6.9)	28.6.21 ~ 28.9.30	(免除)	29.9.17	前	28.6.21	750,000	当該試験を行う ことができる機 関は理化学研究 所のみであるた め
					750,000			随				
家畜保健衛生費	国補	牛白血病の抗病 性遺伝子の特定 受託試験	国立研究開 発法人理化 学研究所		(28.11.24)	28.11.29 ~ 29.3.31	(免除)	29.3.23	前	28.11.29	750,000	当該試験を行う ことができる機 関は理化学研究 所のみであるた め
					750,000			随				
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物(汚 泥)の収集運搬及 び処理業務委託	三光(株)		(28.4.21)	28.4.21 ~ 29.3.31	28.4.21	28.7.26 外	精算	28.8.30 外	973,620	特別管理産業廃 棄物(感染性汚 泥)の収集運搬、 処分が可能な業 者
				50 60,000 (単価契約)	50 60,000 (単価契約)		随	28.7.26 外				
家畜保健衛生費	単県	ヒートポンプエ アコン保守点検 業務委託	(株)ヤマト 米子支店		(28.6.15)	28.6.15 ~ 28.7.31	28.6.9	28.7.8	精算	28.8.5	356,400	特殊構造のため特 約店に限定される。 県内特約店は1社 のみであるため
				367,000	356,400		随	28.7.8				
家畜保健衛生費	単県	安全キャビネッ ト保守点検業務 委託	小西医療器 株式会社		(28.8.9)	28.8.9 ~ 28.10.31	28.8.5	28.9.28	精算	28.10.14	626,400	
				626,400	626,400		随	28.9.28				

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変更契約(最終)	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間	契 約 形 態					
家畜保健衛生費	単県	分光蛍光光度計 保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	429,840	(28.8.23) 408,240	28.8.24 ~ 28.11.30	28.8.18 (免除) 随	28.8.29 28.8.29	精算	28.9.16	408,240	
家畜保健衛生費	単県	純水製造器保守 点検業務委託	(有) 友田大洋堂	326,160	(28.9.7) 300,240	28.9.7 ~ 28.12.28	28.8.31 (免除) 随	28.9.7 28.9.7	精算	28.9.27	300,240	
家畜保健衛生費	単県	リアルタイムPCR 保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	388,000	(29.1.26) 372,600	29.1.26 ~ 29.3.31	29.1.17 (免除) 随	29.3.8 29.3.8	精算	29.4.4	372,600	
家畜保健衛生費	単県	マルチビーズシ ョッカー(卓上 細胞破碎機)保 守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	213,000	(29.1.26) 210,600	29.1.26 ~ 29.3.31	29.1.17 (免除) 随	29.3.9 29.3.9	精算	29.3.24	210,600	
予定価格が 20万円未満 のもの											787,622	
目計											5,535,722	
合計											5,535,722	

1 3 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
ア 土地

(平成29年5月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771	
					減少	H				H			
計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
合 計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建物

(平成29年5月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	78.00	451,155,600	増加	H				H	78.00	451,155,600	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保健 衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	58.00	451,155,600	増加	H				H	58.00	451,155,600	
					減少	H				H			
計			1,312.89	451,155,600							1,312.89	451,155,600	
合 計			1,312.89	451,155,600							1,312.89	451,155,600	

ウ 山 林 該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし

オ 物 権 該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成29年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	49,653 円	45,424 円	52,586 円	42,491 円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	49,653	45,424	52,586	42,491	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成29年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫設置場所	倉吉市清谷町二丁目132	1.0㎡	H28.2.5	H22.1.18	H28.4.1 ~ H29.3.31	丹繰・年額	4,980	鳥取市末広温泉町723 (公社)鳥取県畜産推進機構 会長 高見俊雄	文書ID 15-00148560
計								4,980		
合計								4,980		

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(㎡)	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,000

イ 異動状況
(行政財産)

(平成29年5月31日現在)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	16人	人	人	人	人	16人	6人	10,000円	/	/
5月	16人					16人	6人	10,000円		
6月	16人					16人	6人	10,000円		
7月	16人					16人	6人	10,000円		
8月	16人					16人	6人	10,000円		
9月	16人					16人	6人	10,000円		
10月	16人					16人	6人	10,000円		
11月	16人					16人	6人	10,000円		
12月	16人					16人	6人	10,000円		
1月	16人					16人	6人	10,000円		
2月	16人					16人	6人	10,000円		
3月	16人					16人	6人	10,000円		
合計								120,000円		

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成29年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用とする 理由	処 分				備 考
							売払・棄却 の別	売払方法・棄却 理由	処 分 年月日	売払額・ 処分費用	
遺伝子増幅器 バイオラッド ラボラトリ	1 台	H22.10.1	5 年	539,700 円	H28.11.24	修理不能 (地震で破損)	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H28.11.24	0円	
炭酸ガス培養器 バイオスペース BNA-111	1 台	H5.11.15	8 年	870,350 円	H29.1.25	修理不能 (地震で破損)	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H29.2.2	0円	
炭酸ガス培養器付属品	1 台	H5.11.24	8 年	99,650 円	H29.1.25	修理不能 (地震で破損)	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H29.2.2	0円	
製氷機 サンヨー SIM-F122	1 台	H7.12.25	5 年	435,960 円	H28.6.8	機器更新	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H28.6.8	0円	
	4 台									0円	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物確認できなかった物品名	個 数
平成28年7月1日 ～ 平成28年8月31日	・ 有 ・ 無		

2.2 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行伺の事前承認

旅行総件数	旅費システムで発令日が出発日より遅い件数 ①	①のうち履歴で事前承認が確認できた件数 ②	①のうち②以外で緊急等特別な理由があった件数 ③	特別な理由もなく事前承認がされていない件数 (①-②-③)	備 考
72	23	0	9	14	患畜の採材等急遽の対応が必要となり、口頭で所属長に了解を得た上、自宅発～用務地～庁地着の出張を行ったもの7件、大雪による当所解剖舎の使用不可に伴う緊急対応によるもの2件

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの（零精算を除く）……………（ 7 件中 1 件）

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの……………（ 46 件中 1 件）

(3) 旅費の計算

用 務 先	旅 行 期 間	用 務 内 容	支出金額	備 考
福島県福島市	H29. 2. 9 - H29. 2. 11	H28年度年北海道・東北ブロック家畜保健衛生業績発表会	75,360	
千葉県千葉市	H29. 2. 2 - H29. 2. 4	第58回関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会	63,830	
石川県金沢市	H29. 2. 23 - H29. 2. 25	H28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会	59,160	
大分県大分市	H28. 12. 13 - H28. 12. 15	理化学研究所シンポジウム	58,240	
東京都文京区・府中市	H29. 3. 1 - H29. 3. 2	獣医微生物学フォーラム及び東京農工大学病性鑑定打ち合わせ	53,020	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

出張命令を事前に提出すること、出張から帰着後に速やかに復命書の作成ならびに旅費の精算を行うことをアナウンスし、徹底を図っている

2.3 事業別予算執行状況調べ

目 名	家畜保健衛生費	(平成29年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書を購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他	

2.4 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ (平成29年2月1日現在の数値は集計中)

家畜種別	平成28年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	64戸	4,851頭	65戸	4,941頭	△ 1戸	△ 90頭
肉用牛	121戸	10,275頭	125戸	11,021頭	△ 4戸	△ 746頭
豚	16戸	16,015頭	18戸	16,650頭	△ 2戸	△ 635頭
採卵鶏	11戸	111,381羽	12戸	107,806羽	△ 1戸	3,575羽
ブロイラー	24戸	1,595,348羽	24戸	1,585,813羽	0戸	9,535羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成29年3月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	1,500頭	1,625頭	
	結核病	〃	〃	〃	830頭	809頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除58頭を含む
	コネ病(ELISA)	〃	〃	〃	2,550頭	2,997頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除83頭 家畜伝染病予防法第51条による検査112頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	17,000頭	4,336頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	17,000頭	1,740頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	170,000羽	12,100羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	10頭	0頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	めん山羊伝染性疾病	検査	4月～12月	管内一円	35頭	0頭	
	ひな白痢	〃	〃	〃	3,500羽	4,890羽	
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,500羽	4,890羽	
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	5,000羽	4,110羽	
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	61群	
	アパネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	69頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～3月	〃	486頭	668頭	
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	100頭	90頭	
	牛白血病	〃	〃	〃	1,200頭	2,121頭	
	オースキー病	〃	〃	〃	530頭	302頭	
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	270頭	203頭	
	豚サルネ症	〃	〃	〃	100頭	406頭	
	PRRS抗体	〃	〃	〃	260頭	160頭	
	豚流行性下痢	〃	〃	〃	270頭	49頭	
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	610羽	450羽	
	伝染性気管支炎	〃	〃	〃	270羽	409羽	
	伝染性マブプリウス嚢病	〃	〃	〃	270羽	409羽	
	鶏サルネ症	〃	〃	〃	36戸	36戸	
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	4件41頭	
	結核病	〃	〃	〃	—	4件41頭	
	マネ病	〃	〃	〃	—	2件27頭	
	死亡牛BSE検査	検査	〃	県内	300頭	243頭	
種畜検査(牛)	〃	〃	管内一円	—	40頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除19頭を含む	
病性鑑定	〃	〃	〃	—	1,944件		

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考	
家畜衛生対策事業	畜産物の安全性確保対策		検査指導	4月～3月	管内一円	1業者・1品目	1業者 1品目	カビ毒検査	
						牛：10戸	牛：10戸	立入検査	
	診断予防技術向上		検査指導	4月～3月	管内一円	1戸・20頭	1戸・39頭	牛ヨ一ネ病	
	動物用医薬品危機管理		検査指導	4月～3月	管内一円	酪農：71戸	酪農 70戸	動物医薬品使用実態調査	
						7戸・7検体	10戸・13検体	耐性菌実態調査	
						1業者・1品目	0業者 0品目 (対象なし)	動物医薬品品質検査	
			立入検査	〃	〃	19店舗 (H28年度 2店舗廃止)	17店舗		
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新 1件 書換交付 1件		
	地域衛生管理対策	牛ウイルス性下痢粘膜病対策		検査	4月～3月	管内一円	牛：210戸	牛：33戸 289頭	県外導入農場、発生農場対象
		乳房炎		検査指導	4月～3月	管内一円	158検体	130検体 (管内全酪農場)	管内全酪農場
				会議等	〃	〃	検討会議 1回以上	検討会議 1回	
		幼獣疾病対策		調査指導	4月～3月	管内一円	牛 5戸：豚 5戸 ×4回	牛 5戸：豚 5戸 ×3回	
				会議等	〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 1回	
		牛白血病清浄化対策		調査分析	4月～3月	管内一円	牛 1戸	牛1戸	
会議等				〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 1回		

25 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成29年3月31日現在)

家畜別	病 性 別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	ウイルス遺伝子検査	17	17	
	ウイルス検査	2	2	
	ウイルス抗体検査	3	3	
	サーベイランス事業	17	17	
	血液プロファイル	22	21	1
	細菌遺伝子検査	3	3	
	細菌検査	3	3	
	飼料検査	3	3	
	病理検査	11	6	5
	小 計	81	75	6
肉用牛	ウイルス遺伝子検査	22	22	
	ウイルス検査	2	2	
	ウイルス抗体検査	5	5	
	サーベイランス事業	5	5	
	血液プロファイル	41	41	
	細菌遺伝子検査	13	13	
	細菌検査	10	10	
	病理検査	22	20	2
	小 計	120	118	2
豚	ウイルス遺伝子検査	6	6	
	サーベイランス事業	3	3	
	細菌遺伝子検査	5	5	
	細菌検査	5	5	
	病理検査	5	5	
	小 計	24	24	
鶏	ウイルス遺伝子検査	2	2	
	ウイルス検査	3	3	
	ウイルス抗体検査	8	8	
	細菌検査	1	1	
	病理検査	2	2	
	その他	1	1	
	小 計	17	17	
その他	ウイルス遺伝子検査	2	1	1
	ウイルス抗体検査	1	1	
	小 計	3	2	1
合 計		245	236	9

(2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成29年3月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	臨床	病理	計
乳用牛	件数	6	39		25		11	81
	検体数	78	764		351		12	1,205
肉用牛	件数	24	32		42		22	120
	検体数	116	964		409		22	1,511
豚	件数	10	9				5	24
	検体数	28	310				10	348
鶏	件数	1	13		1		2	17
	検体数	14	2,390		18		10	2,432
その他	件数		3					3
	検体数		12					12
計	件数	41	96		68		40	245
	検体数	236	4,440		778		54	5,508

(3) BSE検査実績

死亡牛検査 243頭 (平成29年3月31日現在)

2.6 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし